

# 防府自由律俳句の会みもぞ

## 中関小5年に 出前授業

### 児童が十七音の表現に挑む

防府自由律俳句の会みもぞ（門田美和子会長）の出前授業が14日、中関小であり、5年の4クラス115人の児童が自由律俳句作りに挑戦した。

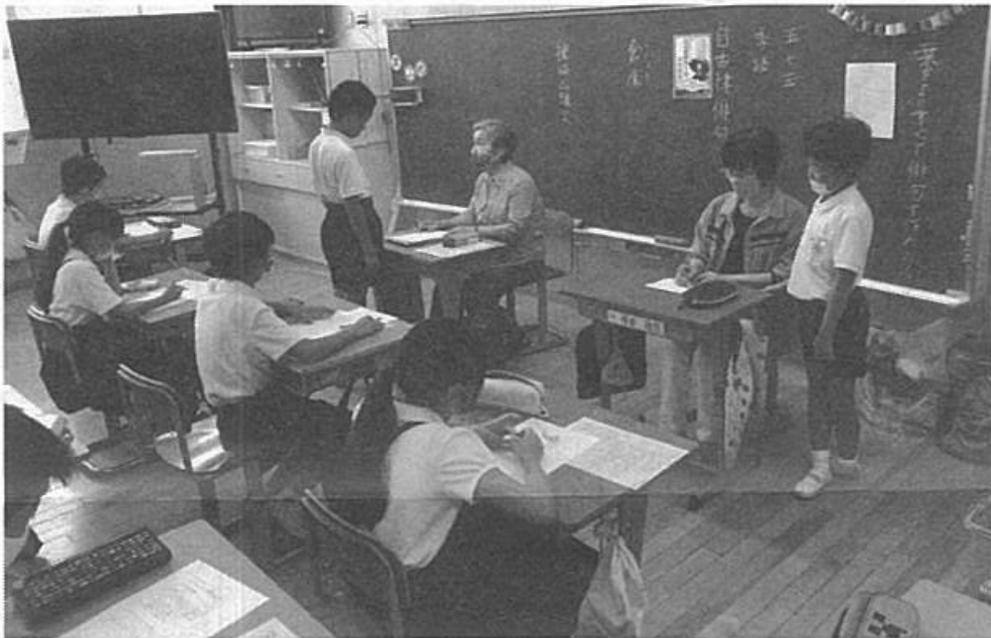
同小は5年前から国語の授業の一環で、防府市出身の自由律俳人・種田山頭火（1882～19

40年）にちなんで、十七音の表現に挑んでいる。

この日は門田会長と同会の倉床節子さんが指導に当たった。「待ち遠しいな家族で旅行」を作った4組の関口梓弓さんは「リズムを考えるの

が難しかった」。末吉昌人君は「どしゃぶり大雨遊べない」と詠み、「何を書いたらいいか分からず、難しかった。自分にしてはよくできた」と話した。

（入江孝治）



自由律俳句の指導を受ける児童たち

「自由律俳句(5年生)」

令和5年7月21日  
ほうふ日報